

令和3年度 事業報告

当センターは、地域の高齢者の多様な就業ニーズへの対応、高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に努めております。

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見通せない状況が続く、派遣先製造工場の生産調整などが進むなど、当センター会員の就業機会の確保に深刻な状況が続きました。

就業機会の減少と高齢化による就業不能者の増加による退会者は45名（前年度比18名減）。新規入会者43名（前年度比6名増）のうち、既存会員からの紹介による入会者が9名となり、年度末時点での会員数は333名で、対前年度比2名減となっています。

また、令和2年度からの「特別会員制度」については、特別会員登録者は5名となっており、退会抑制の面では、前年度に比べて一定の成果が得られています。

令和3年度の受託事業実績は、昨年度からの減少傾向が続く、受託件数が17.9%減、契約金額が4.1%減となりました。受託件数の減少については、防除作業が人手不足のため、作業回数を削減した影響が大きく表れています。

「空き家等管理業務」については、ふるさと納税の返礼品となっており、関係機関とも連携を図りながら、利用者の満足度を高めて継続的な受注につなげるよう努めました。

「介護予防・生活支援事業」についても、関係機関との連携を図り、利用者の希望に添ったサービスの提供を行い、受注機会の拡大や就業会員の確保に努めました。

労働者派遣事業については、労働環境の変化や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞等により、事業実績は契約金額で対前年度比11.9%減となっています。

しかしながら、第4四半期中には、企業担当者からの問合せが増え始めるなど、一部に明るい兆しもみえており、会員の希望業種と発注者が求める職種とのミスマッチが解消されれば受注（就業機会の拡大）につながるものと思われ、経済活動の回復にあわせて実績を回復できるよう、会員の確保とマッチング機能を高めるよう努めています。

このように、会員数の減少や就業機会の減少が続く状況を打開するべく、当センターでは、従来からある3つの専門委員会（総務・業務・広報）を、「会員増強・就業拡大委員会」と「広報・イメージアップ委員会」の2つの専門委員会に再編しました。

2つの専門委員会とも、構成員を役員だけでなく一般会員も含めた体制にしたこともあり、当センターの抱える課題解決のために、現場の声を大切にしつつ、活発な意見交換がなされ、組織にとって有意義なものとなっています。

令和3年度から、「会員一人、一会員獲得運動」を推進することとしましたが、既存会員に対してこの運動を地道に周知徹底していくことが成果につながると思われま。

また、砺波公共職業安定所小矢部出張所（ハローワーク小矢部）において、新規会員獲得のために出張説明会を開催し、ハローワークと連携して高齢者の多様な働き方の提案を行っています。

令和3年度に法人設立30年を迎えた当センターでは、会員を中心とした「設立30周年記念事業実行委員会」を組織し、3つの記念事業（記念誌発刊・記念式典挙行・会員作品展開催）を実施しました。

令和3年度の事業運営にご理解とご協力をいただいた発注者の皆様と会員はじめ関係各位には深く感謝申し上げます、令和3年度の事業実績について以下のとおりご報告申し上げます。

○会員の状況（年度末）

	令和2年度	令和3年度	増減
男性	203名	205名	2名増
女性	132名	128名	4名減
合計	335名	333名	2名減

会員の平均年齢 74.3歳（男性74.8歳、女性73.5歳）

○受託事業実績

	令和2年度	令和3年度	前年度比
受託件数	4,091件	3,359件	82.1%
契約金額	136,066,403円	130,422,423円	95.9%
就業延人員	27,465人日	26,286人日	95.7%
就業率	76.8%	78.7%	102.5%
〃 (派遣を含む)	91.3%	91.0%	99.7%

○派遣事業実績

	令和2年度	令和3年度	前年度比
就業会員	62人	66人	106.5%
就業延人員	7,167人日	6,158人日	85.9%
契約金額	40,166,278円	35,388,723円	88.1%